



学校だより

令和7年度 1月号

令和8年1月8日発行
東京都立足立特別支援学校長
鈴木常義
〒121-0061 東京都足立区花畠 7-23-15
電話 03-3850-6066(代表)

50周年に向かって

校長 鈴木常義

新年あけまして、おめでとうございます。足立特別支援学校にかかる皆様にとって幸多き年になりますよう心からお祈り申し上げます。

令和8年の「午」は十二支の7番目で、動物の馬にあてはめられています。古代では「馬」が生活の要であり、健康や豊作、発展の象徴でもありました。また「午」の字は、餅をつく道具の動きに由来し、交差や転換を意味します。このことから「午前」「午後」のように、時間の区切りにも使われています。

令和7年度の学校評価アンケートに際して、ご協力をいただきありがとうございました。今年度も保護者アンケートの回収率が95%を超えたことに、感謝申し上げます。100%に近い多くの保護者の皆様から寄せられた学校評価を受けて、学校の改善に向けた令和8年度学校経営計画につなげていきます。また、学校経営計画のトップに「適切な援助希求行動の育成（SOSの発信）」を掲げていますが、月曜日・火曜日・水曜日・金曜日の4日間を4名のSC（スクールカウンセラー）が生徒の相談等にあたっています。12月までに「延べ314名の生徒」が、相談に訪れてています。この数字は昨年に比べると100名ほど増えています。これからも生徒から「話しやすい大人」を増やし、安心して学校生活を送ることができるよう努めています。もう一つ、「教員の救命技能認定証」の取得率が100%となりました。この両輪において、「安心・安全」な学校としての基礎基本が構築されたと考えています。

いよいよ3学期が始まり、一年間の学習の総仕上げとして、学校生活がスタートしました。今月は「足立フェスタ」があります。昨年末から展示や舞台発表に向け、準備を進めてまいりました。1月24日（土）を期待して、お待ちください。舞台発表では、普通科1年「友情の大切さ」2年「失敗にくじけず立ち上がり」3年「つらいことがあってもみんなで協力して前へ進む」、職能開発科「働く理由、最後に考えたのはいつですか？」について考え、学んだメッセージが込められた演技をご覧いただけます。また、芸能部の発表、デジタル&アート部の展示にもご期待ください。

さて、令和9年10月下旬（第一希望）に「50周年記念式典」の開催を予定しています。この創立50周年の記念の日を新たな出発の日として、足立特別支援学校の校章の由来である「足立の教育が生徒を中心として、教師・父母・地域社会の輪の中で営まれていくことを願ってきた」実践をまとめ、準備を進めてまいります。生徒会実行委員会を中心として、教職員一同、保護者・地域の皆様の連携とともに、記憶に残る周年行事にしたいと考えております。

卒業や進級に向けて、大切な時期となります。ご家庭との連携をさらに深めながら、一人一人の成長が感じられるように応援していきます。引き続き、学校教育にご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。